

2022年4月20日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2022年4月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/fukuoka/>

<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

○ 九州・沖縄の景気は、持ち直しのペースが鈍化している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、感染症の影響による下押し圧力が幾分和らぐもとで、足もとでは改善の動きがみられている。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、全体として増加している。住宅投資は、持ち直している。輸出は、持ち直しの動きが一服している。

こうした中で、生産は、持ち直しの動きが一服している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

3月短観における企業の業況感は、製造業・非製造業ともに悪化している。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症や供給面の制約、原材料価格等の上昇が、当地の経済金融情勢に与える影響等に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回	今回
景気全体		持ち直しのペースが鈍化している。	持ち直しのペースが鈍化している。
需 要 項 目	個人消費	持ち直しのペースが鈍化している。	感染症の影響による下押し圧力が幾分和らぐもとで、足もとでは改善の動きがみられている。
	住宅投資	持ち直している。	持ち直している。
	公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	設備投資	全体として増加している。	全体として増加している。
	輸出	持ち直しの動きが一服している。	持ち直しの動きが一服している。
生産		持ち直しの動きが一服している。	持ち直しの動きが一服している。
雇用・所得		労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。	労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

2. 個人消費

- 個人消費は、感染症の影響による下押し圧力が幾分和らぐもとで、足もとでは改善の動きがみられている。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	持ち直しの動きがみられている。
	スーパー売上高	底堅く推移している。
	コンビニエンスストア売上高	持ち直している。
耐久消費財	家電販売	増勢が鈍化している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	供給制約の影響から、低めの水準となっている。
サービス	旅行・観光	持ち直しの動きがみられている。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、持ち直している。
2月の新設住宅着工戸数は、貸家の減少を主因に前年を下回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、高水準で推移している。
3月の公共工事請負金額は、国発注分の増加を主因に前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、全体として増加している。
3月短観（九州・沖縄地区）における2021年度の設備投資（除く電気・ガス）は、前年を上回る見込みとなった。2022年度は、非製造業が前年を下回る一方、製造業が前年を上回る計画となっている。
2月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を上回った。

6. 輸出

- 輸出は、持ち直しの動きが一服している。
2月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、持ち直しの動きが一服している。

▽主要業種の生産動向

輸 送 機 械	自動車は、部品の供給制約の影響により、弱めの動きとなっている。船舶は、受注残の減少により、生産水準が低位で推移している。
電子部品・デバイス	高水準で推移している。
汎用・生産用 ・業務用機械	高水準で推移している。
化 学	減少している。
鉄鋼・非鉄金属	持ち直しのペースが鈍化している。
食 料 品	弱含んで推移している。

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。
労働需給をみると、有効求人倍率は横ばい圏内で推移している。
12月の雇用者所得総額は、現金給与総額の増加を主因に前年を上回った。

9. 物価

- 2月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った（2月：+0.2%）。

10. 金融

- 2月の預金残高をみると、個人預金を中心に前年を上回った。
- 2月の貸出残高をみると、個人向けを中心に前年を上回った。
- 3月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を上回った。

以 上